



## ルーティング トリガーの設定

---

- [「ルーティング トリガーのリストの参照」](#)
- [「ルーティング トリガーの追加と編集」](#)

### ルーティング トリガーのリストの参照

ルーティング トリガーによって、トリガー条件がトリガー ポリシー（ルックアップ ポリシーとも呼ばれる）と関連付けられます。照合される対応条件によって、単一のポリシーが選択されます。条件はシーケンス番号の昇順で評価されます。

ルーティング トリガーは、ルーティング ロジックの指令に使用できる、条件のセットです。特定のイベント（または条件ケース）に対する応答として、自動的に実行されます。条件には、複数のケースがあります。

#### 手順

---

**ステップ 1** [Configure] > [Routing Triggers] を選択します。

[Routing Triggers] ページが表示され、すべてのルーティング トリガーが表示されます。

**ステップ 2** ルーティング トリガーを削除するには、次の操作を実行します。

- a. 削除するルーティング トリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
  - b. [Remove] をクリックします。
  - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
- 

#### 関連項目

[「ルーティング トリガーの設定」](#) の目次ページに戻る

# ルーティング トリガーの追加と編集

## 始める前に

システムには、少なくとも 1 つのトリガーが存在する必要があります。「[トリガーの設定](#)」を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Configure] > [Routing Triggers] を選択します。  
[Routing Triggers] ページが表示されます。
- ステップ 2** ルーティング トリガーを追加するには、次の操作を実行します。
- [Add] をクリックします。
  - [Routing Trigger (New)] ページが表示されます。
  - ドロップダウンボックスから、ルーティング ポリシーを選択します。
  - ドロップダウンボックスから、トリガー条件を選択します。
  - [Add] をクリックします。
- 新しいルーティング トリガーが示された [Routing Triggers] ページが表示されます。
- ステップ 3** 既存のルーティング トリガーを編集するには、次の操作を実行します。
- 編集するルーティング トリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
  - [Edit] をクリックします。
  - 異なるルーティング ポリシーまたはトリガー条件を選択します。いずれか一方または両方を変更できます。
  - [Update] をクリックします。
- ステップ 4** 既存のルーティング トリガーを移動するには、次の操作を実行します。
- 移動するルーティング トリガーの名前の横にあるボックスをオンにします。
  - 上矢印または下矢印をクリックします。
- ステップ 5** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
- 

## 関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[ルーティング トリガーの設定](#)」の目次ページに戻る